

吸入手順書 (レスピマット)
(製品名: スピリーバ・スピオルト)

患者氏名: _____ (ID: _____) 薬局名: _____

指導日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 薬剤師氏名: _____

※ カートリッジを回転させる際には必ず上向きにします
(練習用吸入器等を用い評価欄に結果を記入しながら順に指導をしてください) ○良好 △継続指導が必要 ×できない

初回のみ① 薬の準備 ※新しい吸入器になった時のみ毎回実施します	評価
キャップを閉じた状態で、安全止めを押しながら、透明ケースをはずします。	
カートリッジを吸入用器具レスピマットにまっすぐ挿入します	
カートリッジを奥まで挿入します。(2~3ミリ程度カートリッジが見えている状態が正常です。)	
透明ケースを装着します。	
初回のみ② 薬の準備 ※新しい吸入器になった時のみ毎回実施します	評価
キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。	
キャップを完全にあげます	
下に向け噴霧ボタンを押し、吸入準備をします。 (薬が目に入らないように注意してください。)	
ミスト(霧)が見えるのを確認したらキャップを閉じ「初回のみ②」を3回繰り返して、噴霧が確実に行われることを確認します。	
カートリッジを装着して渡した場合の準備	評価
カートリッジを挿入して3か月以上経過した場合: 薬剤が残っていたとしても使用しないでください。 7日間以上使用しなかった場合: 下に向けて1回噴霧した後に使用。 21日間以上使用しなかった場合: ミスト(霧)が見えるまで初回のみ②の吸入前に必要な準備を行った後、さらにミスト(霧)が見えてから初回のみ②の操作を3回繰り返した後に使用。	
1-1 吸入の準備	評価
うがいをします(1回)	
1-2 吸入の準備	評価
キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。	
キャップを完全に開けます。	
2 息吐き	評価
軽く息を吐き出します	
3 吸入	評価
マウスピースをしっかりと口にくわえ、舌を下げた状態(『ホー』と言うときの舌をイメージ)で息を口からゆっくりと吸いながら、噴霧ボタンを押し、できるだけゆっくり肺いっぱい息を吸い込みます。(通気口をふさがらないでください)	
4 息どめ	評価
吸入口から口を離し5秒程度、息を止めます	
5 息吐き	評価
鼻から息をゆっくり吐き出します	
つづけて吸入する	評価
キャップを閉じ1-2吸入準備~5息吐きをもう一回数繰り返します。	
6 後片付け	評価
キャップを閉めます	
7 うがい	評価
吸入後は必ずうがいを3回します。	
その他の確認	評価
残量の確認方法が理解できた	
用法用量を理解できた	
定期吸入を継続することの大切さを理解できた	



※指導後、表面のみ石川県立中央病院へFAXし、原本は患者様にお渡しください。

参考



⚠ 注意点

- 目盛りは透明ケースを180度回転させるごとに1噴霧分進むため、1回の噴霧時に180度を超えて回転させないようお願いいたします。
- スピオルト®レスピマット®の吸入時に薬が目に入らないように注意してください。
- マウスピース(吸入口)を口にくわえた際、通気孔をふさがないようにしてください。
- 次に吸入用器具レスピマット®を使用するまで、キャップは閉じて保管してください。

吸入用器具レスピマット®の手入れ



少なくとも週1回はマウスピースとその内側の金属部分を湿らせた布またはティッシュペーパーで拭いてください。金属部分は変色することがありますが、吸入用器具レスピマット®の性能には影響はありません。

各部の名称



写真は28吸入剤のものですが、60吸入も各部の名称は同様です。

⚠ 注意点

- カートリッジが奥まで挿入できなくなりますので、カートリッジを挿入する前に透明ケースを回転させないようお願いいたします。
- 透明ケースをカートリッジ挿入前に180度回転させてしまった場合は、噴霧ボタンを押して、元に戻した後にカートリッジを挿入ください。
- 一度挿入したカートリッジは抜かないでください。
- 手で奥まで挿入することが難しい場合は、固い平面の上で挿入していただくと、奥まで挿入することができますが、あまり強く挿入すると吸入用器具レスピマット®が壊れてしまい、ご使用いただけなくなります。
- 薬が目に入らないように注意してください。